

別院 行事の予定

左記の法要・行事を予定しております
万障お繰り合わせの上、ご参拝ください

●修正会

一月一日 午前九時

●新年会

一月十一日 正午

●仏具磨き

三月十五日 午前十時半

●彼岸会

永代経総経

三月二十三日 午前十時

えいたいきょう

永代経

＜創建以来、多くの先達の
法名が永代経には記されて
います。

三月に永代経
総経が勤まりま
す。

永代経志を納
めていただいた
ご遺族の皆様
は個別で案内を
おくらせていた
だきます。
どなたでもお
参りください。



法座会「三日講」

左記日程の通り、当院本
堂にて法座があります。
是非ご参加ください。

各日 午前十時～

◆一月二十三日

「蓮如上人を訪ねて」

◆二月十三日

「歎異抄を読む」

◆二月二十三日

「蓮如上人を訪ねて」

◆三月十三日

「歎異抄を読む」

祝 御結婚

この度、当院にて二組の
ご夫婦が結婚式を挙式され
ました。

この度は誠におめでとう
ございます。



晨朝（おあさじ）
時間変更のお知らせ

当院本堂での晨朝（朝のお
勤め）について、参拝者から
の要望、及び本山晨朝と時間
をずらす為、**午前八時始まり**
に新年より変更いたします。
お間違えの無いよう、お参
りください。

改定後

開門 毎日常七時四十分
晨朝 毎日常八時

第66号

令和8年
(2026年)
1・2・3月号

発行
岡崎別院
輪番事務取扱 近藤悠



光寿無量

岡崎別院

近藤

悠

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

10月23日の報恩講におきましては、本山御鍵役・御法中並びにご
門徒はじめ、三日講員、山城第一組・第二組寺院方、皆様のご協力にて
無事厳修することができました。

ご参勤・ご参詣頂きました皆様、当日様々な面でお手伝い頂いた皆様
には厚く御礼申し上げます。

2025年を振り返ってみれば、落慶法要及び関連行事があり、その
後、前任である福田御輪番が退任され、輪番事務取扱を拝命いたしまし
た。そこから4か月ほど経過し、さまざまな方から「そろそろ落ち着い
た？」とお声がけを頂いております。

そういった時にはほとんどの場合「まあボチボチです」とお答えさせ
て頂いております。「ボチボチ」という言葉には「徐々に、ゆっくりと
物事が進んでいるさま」「程よい加減で進んでいるさま」などが意味と
してあるようです。ですが、私の使い方は「何となく答えにくいので曖
昧に」する為の表現として思うように思えます。

「何も出来てないやないか」と言われないようにとりあえず「ボチボ
チです」と言っておけば何とかその場はやり過ごせる、そんな思いで使
うことがあります。むしろその使い方の方が多いと言えます。

― 仏法には、明日と申す事、あるまじく候う。仏法のことは、いそげ、
いそげ―

― 仏法のうえにては、明日のことを今日するように、いそぎたること、
賞翫候う。―

いずれも蓮如上人御一代記聞書にあるお言葉ですが、「いそげと言わ
れねばならないわが身である」ということを教えられているのだと思っ
ます。
明日のことは明日やれば良いか、めんどろなことは先送りにして、今
日のことでさえ明日にしようとする、そして（自分にとって都合よく）
時が解決してくれるのを望んでいる。「後生の一大事」「往生の一大
事」「今度の一大事」とお聖教に何度も示されているにも関わらず我が
こととせず、「ボチボチやっていれば、その内なんとかなる」と勝手に
納得している我が身に「お前は本当になんとかなりたいと思っ
ているのか？」と言われているようでもあります。

新年早々「いそげ、いそげ」とは性急に過ぎる話かもしれませんが、
放っておけば「明日でいいか」「まだいいか」と何でも先送りにしてし
まい、そうしている間に自分で積み上げたものに追い回され「やらない
といけないことだらけで忙しい」と文句を言っている己が容易に想像で
きます。

「いそげ」と言われねば急ごうともしない我が身を少しでも戒める意
味を込めて新年最初のご挨拶でこのことを書かせて頂きました。
「ボチボチいそいでます」とは答えないようにしなくては、と戒めて
おります。

列座のつぶやき

昨年は、「落慶法要」を始め、環
境の変化や大きな出来事が多い一年
でした。

思えばその場しのぎでやってきま
したが、多方面の方に支えていただ
き、何より一緒にお参りさせていた
だいたご門徒さんの姿に学ばせてい
ただいた、そんな一年だったように
感じます。（松岡）

後世に残る

二人の結婚式



京都府京都市左京区岡崎天王町二六番地
電話 075・771・2921
メール info@okazakibetsui.com

宗宝宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡
真宗大谷派（東本願寺）

岡崎別院

報恩講円成

御礼とご報告

この度、二〇二五年度の岡崎別院「報恩講」が円成しましたことを、ここにご報告させていただきます。

ご法中並びに参拝された皆様、当日の段取りや片付けなどお手伝いいただいた方々、お磨きや花立で準備に力添えをいただいた方々など、多くの方のお支えと志により、円成と相成りました。

紙面にて、改めて厚く御礼申し上げます。



△例年通り、本山法中と近隣寺院方が出仕され執り行われました

▷報恩講では、普段とは違ったお荘厳になります。お荘厳されるお仏具は、ご門徒や三日講、護持会員の皆様のお手伝いのもと、事前にお磨きを行いました。また、花立や当日の受付などのスタッフ、法要後の片付けには、ご門徒や近隣寺院の方にもお手伝いいただきました。



ご法話 竹橋 太師
「生死出づべき道
-仏教の課題-」

▽法要の後には、昨年に引き続き竹橋太師よりお話をいただきました。



△シフォンケーキが販売されました

△館内各所には有志の方々による盆栽の特別展示が設けられました。

親鸞聖人の祥月命日

東本願寺
御正忌報恩講

十一月に、本山にて宗祖の御命日の法要「御正忌報恩講」が厳修されました。当院にも、本山へのお参りに合わせ、多くの団体のご門徒方がお参りされました。また、同月二十三日には、別院のご門徒、三日講員に皆様と、本山に参拝しました。寒い中お越しいただきありがとうございます。



九月秋彼岸

秋彼岸に合わせ、本堂にて彼岸会の法要が執り行われました。

当日は大阪教区より、獅子吼の会所属の志紀正機師をお招きし、「念仏と聞法」を講題としてご法話をいただきました。秋彼岸中は、ご家族や親せきを連れて、納骨堂へも多くの方がお参りされました。

4/19

花まつり開催

四月十九日に、当院にて「花まつり」を開催します。「花まつり」は、お釈迦様が御誕生されたのが「4月8日」とされることから、お子様から祖父母の世代まで一緒に親しめる行事として、宗派を超えて多くの寺院で開催されます。

当日は、花御堂が安置され、誕生仏に甘茶をかけて誕生をお祝いする「灌仏会」が行われます。また併せて、その他ご家族が楽しめる行事等も企画検討中です。詳細は四月発行の鏡池だよりにてお知らせします。

ぜひ四月十九日は、お参りをご予約ください。

＜昨年の花まつりの様子です



おてらまいり

ご存じの通り、当院は親鸞聖人が京都時代を過ごしたと言われる「岡崎草庵の跡地」であり、「親鸞屋敷」として守られてきました。同様に、宗祖聖人の御生涯・大谷派本願寺の伝統を伝える寺院・由緒地が他にもあります。列座が実際に各地を参拝し、ご紹介いたします。ぜひ一度、訪れてみてはいかがでしょうか。

山科本願寺跡

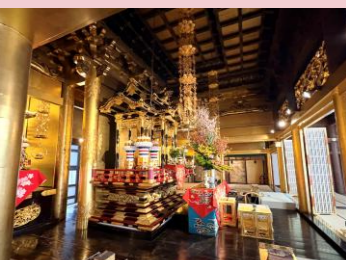
真宗大谷派山科別院長福寺

住所 京都市山科区竹鼻サイカシ町一三一七

岡崎別院から車で約十五分の場所に、真宗大谷派の別院「山科別院 長福寺」があります。由来は、本願寺第八代蓮如上人が、山科の地に本願寺を建立されたことがはじまりです。「寺中広大無辺にして、莊嚴さながら仏国の如し」と言われるほど壮大な伽藍は、当時の真宗興隆の様子がうかがえます。

当時の伽藍は一五三二年に焼失しましたが、江戸時代になり、第十七代真如上人の時に山科の地に御坊建設が計画され、当時東本願寺の境内にあった長福寺を移築し、一七三六年本願寺旧地に北接して山科御坊が建立されました。京都市内では、当院と山科別院、伏見別院の三別院があります。お近くにお住まいの方も多

報恩講や蓮如忌では、岡崎別院からもお手伝いや出仕をさせていたり、お世話になっている別院さんです。



報恩講 九月二十四日～二十五日
蓮如忌 三月二十四日～二十五日

坊守会報恩講

十二月一日、山城第一組・山城第二組坊守会の報恩講が、当院の法要ホールにてお勤まりになりました。